# よらいや やらいや 公民館



### 紅葉狩り

秋もたけなわとなり、文化、スポーツ、読書など、さまざまな秋を満喫されているのでは ないかと思います。

さて、朝夕がめっきりと涼しくなりました。北の国から紅葉の便りが届くようになりました。ウェザーニュースの「2019紅葉の見ごろ予想」(9月4日現在)では、北海道の大雪山(9月20日~)、上高地(10月14日~)、大山(10月27日~)、芦津渓谷(11月2日~)、宮島(11月17日~)、嵐山(11月24日~)となっています。紅葉の名所は、全国津々浦々に数多くありますが、個人的には京都の伏見にあります東福寺がお勧めです。

ところで、「紅葉狩り」という言葉はご存じだろうと思います。なぜ、紅葉狩りというのでしょう。チコちゃんは、知っていると思いますが、紅葉狩りとは落ちた紅葉を拾ったり、 枝を折ったりすることではありません。「紅葉を見ること」です。では、なぜ「狩り」かというと、平安貴族が狩りをして、紅葉を鑑賞する宴を開いたのが始まりだそうです。

そこで、一句、「美味し酒 さしつさされつ ほほ紅葉」おそまつ。

# 11月各種イベント情報

#### ○ノルディックウォーキング講習会

青谷地区まちづくり協議会健康・体育部会主催による<u>ノルディックウォーキング講習会を11月14日(木)13:30に青谷地区公民館において開催</u>します。講師は、昨年度も指導していただいたNPO法人未来の岸田寛昭さんと中原 都さんです。ノルディックウォークは、2本のポール(ストック、つえ)を使って行うウォーキングです。通常のウォーキングと比較すると、運動効果を20%アップさせることができます。その他、次のような効果が期待できます。①適正な長さのポールを使用することにより、背筋が伸び、歩幅が広がり理想的な姿勢を維持できます。②ポールを持つことにより、二足歩行から四足歩行となるため、足への負担が軽減できます。③転倒防止に効果的です。④有酸素能力、筋力、柔軟性と3つの要素をバランスよく向上させます。

ぜひ、ノルディックウォークを体験してみてください。たくさんのご参加をお待ちしています。くわしくは、ちらしをご覧ください。レッツ、ウォーキング!!

#### ○ 鳥取市公民館まつり

鳥取市公民館まつりが、11月23日(土)、24日(日)に鳥取市文化センターを会場として開催されます。期間中、各地区公民館の作品展示(9時~16時)、特産物販売(24日10時30分~)、芸能発表(24日13時~15時50分)、手作りワークショップ(23日13時30分~15時30分)を予定しています。(くわしくは、ちらしをご覧ください)

皆様のご来場をお待ちしております。

# はまちゃんの釣り情報

二人の釣り人が大波にさらわれる海難事故がありました。幸い二人とも九死に一生を得ま したが、これからの磯釣りは、細心の注意が必要です。安全な釣りを心がけましょう。

グッド**、ラック**!!

10月20日現在



長尾鼻 相変わらず餌取りの猛攻に合います。チヌ、グレともぼつぼ つ釣れています。かご釣りで真鯛やヒラマサが出たそうです ジグで小型のサゴシがつれます。

釣り大会が中止となり、大変残念でした。

漁港防波堤 小あじが釣れています。

砂浜海岸 釣り人の姿を見かけなくなりました。

沖釣り 時化続きで出船できません。

コンビニ袋に入ったゴミのポイ捨てが目立ちます。 釣り場のゴミは必ず持ち帰りましょう。 釣り針等の仕掛けも危険です。 必ず持ち帰りましょう。

## シリーズ環境 ~ 温暖化とさんま ~

今年、さんまを食べられましたか。スーパー の鮮魚売り場で、「新さんま」「生さんま」の値 段を見て、ため息が出た方も多いかと思います。

さんまの漁獲量は、1950年頃のピークの時期と比べて1/4ぐらいになっているそうです。日本のさんまの漁獲量が減少している要因は3つあるそうです。

①さんまの回遊ルートの変化

冷たい水温を好むさんまは、道東から三陸へ と流れる親潮にのって南下します。近年、北海 道の東には暖水塊(暖かい水のかたまり)とい うエリアが大きくなっており、さんまが日本の 近海から少しずつ遠ざかっています。

#### ②他国の漁獲量の増加

中国や台湾などでさんまの漁獲量が増えてき

ています。近年、中国や台湾は日本の排他的経済水域のさらに沖にある公海まで冷凍設備のある大型船で漁業を行っています。これにより、日本近海を通らなくなったさんまを先取りされる形になっています。

③資源量自体が減っている

さんまの獲り過ぎ、自然環境により生息域がずれた、サバなど食物連鎖に負けた等の理由により、自然界に存在しているさんま自体がへっています。

地球の温暖化の影響により、さんまの回遊バランスが崩れつつあります。100年後には、 今よりも40gも軽いさんまになってしまうのではという予想もされているそうです。

これは、さんまだけの問題ではないと思います。地球の温暖化により様々な生態系のバランスが崩れています。

